

究極の「釜揚げしらすと
じゃこのお楽しみ弁当」

尾上 大輔

究極の弁当に巡り合いました。年のせいもあるが、あっさり系がおいしい。例えば、ちりめんとノリと西京焼き、なんかが最高ですね。先日東京駅で買った弁当、最高でした。新幹線の改札口そばの、いろんな弁当を売っている弁当売店で、山形の牛肉弁当、横浜のシューマイ弁当、カニとかイカとか、いろいろある中で、なんとなく選んだ弁当が最高でした。食べた後の感想は後ほどね。その日は東京で出張の仕事が終わって、さても週末はどこをうろろしようかなとシリーズで、甲府へ行くことに決定。松本行きの特急は、なんと最近、新宿発だけでなく東京駅からも出ている。この日は時間が合わず、新宿で乗り換えてあずさ号に乗る。



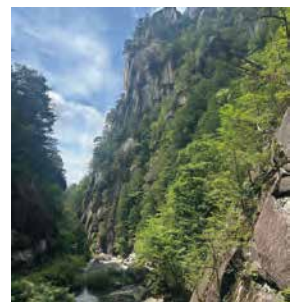
行き先は甲府です。その前に、弁当とビールを買いました。なんか、あっさり系で山椒のきいたしらすが最高です。釜揚げしらすとじゃこのお楽しみ弁当、価格も物価高のなか980円とお財布にもやさしい。決定です。弁当とビールを抱えて、3時ちようどのあずさ33号で私は仕事から離れまーす。なんて、出発です。さてと、電車は阿佐ヶ谷・小金井を越え、多摩地区の田園風景へ。田舎の風景を楽しみつつ、周りの様子も行楽モードとなったので、2本目のビールともにお弁当を開ける。今回の弁当は東華軒の弁当、なんと小田原と書いてある。へく、東京で買ったのに小田原か。結構進出しているのね。ご飯の部分は、白いしらす、茶色い山椒しらす、青菜のしらすの三色旗です。その真ん中に梅



千しの日の丸。まさに日の丸フランス弁当、よく考えたな。そこに、ビニールに入ったパリパリのりを2枚。ハの字型に並べて笑顔になろう。見た目を楽しんでから、味見です。まずは青菜の部分を一口。うーん、何とも言えなく。おかずはカレイの西京焼き、なんといっても最高です。それもカレイ？そんなあったんや。初めてはうれしいです。うーん、これも美味。続いて、人参・椎茸・竹輪の煮物。定番の卵焼き。純和風はいいね。トンカツとかスパゲティは入っていない。日本人はやっぱり、ご飯にしらす・青菜は最高でした。満足、満足。皆様もぜひ関東へ行ったら探してみてくださいね。日本一の理由を体感してください。甲府には夕方到着。結構都会ですね。明るいうちに、まなく町探検して、夕食の一番店を探そう。ここぞと選んだ郷土料理



の『奥藤』さんで、甲府名物の『ほうとう』をいただきました。あんまりおいしくないと白状します。名物は体験するもので、おいしいとは限らない。ワインを1本買って、早めにホテルへ。一泊7000円の甲府プリンスホテル朝日館。朝食は生卵食べ放題ですが、一部の人には大サービスですが、私は焼いた方が好きであります。翌日はバスで昇仙峡と武田神社へ。昇仙峡は行った方がいいね。この山水画のような風景は日本でも有数です。あと甲州（公衆）電話のパロディも見つけよう。あとは、身延線（甲府ー富士）で静岡へ2時間、あとひかりで姫路まで3時間。ミニうちろろろシリーズ、案しかったです。



甲州電話

BEN STYLE

山口・広島をめぐり、 一泊二日の旅

営業 松岡 啓太郎

今回は、一泊二日で山口・広島へ旅行に行ってきました。前日の夜から車で出発し、翌朝に山口県へ到着。少し仮眠をとってまず向かったのは、下関市にある『唐戸市場』です。朝から多くの人で賑わっており、活気あふれる市場の雰囲気は圧倒されました。新鮮な魚介類が並び市場で寿司やてっさをいただきました。朝から山口ならではの味覚を満喫しました。続いて訪れたのは『秋芳洞』。洞内に入ると、想像していた以上の広さに驚きました。長い年月をかけて自然がつくり出した鍾乳石など、普段なが



なが見ることで、きない幻想的な景色を築きながら、ゆっくりと散策しました。昼食には山口県のご当地グルメ『瓦そば』をいただきました。熱々の瓦の上で焼かれたそばは香ばしく、旅行先ならではの味を築きむことができました。昼食後は『錦帯橋』へ。写真では何度か見たことがありましたが、実際に目の前にすると、五連のアーチが連なる姿は想像以上に迫力がありました。せっかくなので実際に橋を渡ってみることに。橋の上から眺める景色はとても気持ちよく、少し急な階段のようになっている部分



第251号
BenHouse
(記事はあくまでも個人の私感でございますので悪しからず。)
www.benhouse.co.jp

もあり、思っていた以上に歩きごたえがありました。山口を一日満喫したあとは、広島のホテルへ移動。夕食はホテルのビュッフェで、さまざまな料理を味わいながら一日の疲れを癒しました。朝からたっぷり観光したこともあり、夜はゆっくり休んで2日目に備えました。そして2日目。ホテルを出発し、まず向かったのは宮島です。厳島神社をはじめ、島の美しい景色を楽しみながら散策しました。宮島では観光だけでなく、食歩きも楽しみました。広島名物の牡蠣を味わったり、焼きたてのもみじ饅頭



をいただいたりと、広島ならではの味覚を満喫。歩きながら気になるものを少しずつ楽しめるのも、宮島の魅力の一つでした。宮島を後にして、午後からは福山市の『瀬の浦』へ。昔ながらの町並みが残る港町を散策し、宮島とはまた違った広島の魅力を感じました。特に、落ち着いた町の雰囲気と海を眺めながらの散策が印象に残っています。そして旅の締めくくりは、尾道ラーメン。最後までご当地グルメをしっかり堪能し、一泊二日の山口・広島旅行を終えました。短い日程ではありましたが、山口では自然や歴史、広島では世界遺産や昔ながらの町並みを楽しみ、さらに各地のご当地グルメもたっぷり味わうことができました。観光もグルメも楽しめる山口・広島。皆さんも機会があれば、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

